

# 成宮まり子

参院京都選挙区候補

## 命守る議席必ず

》中《

### 青年の思いに

「私は胸がいっぱいになりました」——朝、携帯電話で駅に呼び出された

「日雇い派遣」の青年たち数十人が、護送車のようにバスに乗せられ、派遣先に送られていく光景を見たときの気持ちを、日本共産党の成宮まり子参院京都選挙区候補

状をどうしても変えたい。成宮さんの訴えに力がこもります。

### 声集めて交渉

成宮さんは、京都市立芸術大在学中には美術学部学生自治会の書記長を、大学院修了後は絵画の創作活動のかたわら阪神淡路大震災のボランティアに参加しました。そ



青年の働き方の改善についてコンビニを訪問し、対話する成宮候補

### 魅力に引かれて

「自分の頭で考え、体験に基づいて自分の言葉でしゃべっている人。それが成宮さんの魅力」というのは、NGOスタッフの森田紀子さん(三四)。

別の政党を支持してきた森田さんが、日本共産党的成宮さんに注目したのは一昨年、二〇〇五年総選挙の公開討論会でした。各候補が壇上に並んで一千人の声を集めました。厚生労働省や京都

府、京都労働基準監督署に、正規雇用の拡大やサービス残業の根絶などを求めました。今年一月末には「日本共産党と成宮まり子の青年雇用アピール」を発表して「青年を守る先頭に立ってきた成

宮さんだけ。成宮さんは私たちにとって最も現実的な選択肢です」

# 動けば変わる

(三)はこう語ります。

その中の一人は、「正社員になりたいけど、金も暇もなくて悔しい」といい、別の青年は「時給一千円? そんなにもらってないよ。安い労働力ってオレらのことですか」といました。「この現

『使い捨て』にするような働き方は許さない。あきらめず、声をあげ、政治を動かそう」と呼びかけました。青年たちの運動と党議員の奮闘を

背景に三月には、全国で初めて京都府で正規雇用促進の条例改正が実現しました。

昨年八月には、森田さんらが企画した青年「トーキ・セッション」への出演を成宮さんに依頼しました。「無力感に負けてしまっている若者に、自分が動けば何が変わるというメッセージを伝えなければいけなかったから」です。

森田さんは、今月三日に行われた京都青年会議所主催の公開討論会に足を運びました。「直接、成宮さんの話をきいてほしい」と、友人にも参加を呼びかけました。「平和憲法を守ると言っているのは京都選挙区では成

宮さんだけ。成宮さんは私たちにとって最も現実的な選択肢です」

## 青年の雇用守って